

# 図書館だより

第151号

2023年2月27日(月)発行  
茨城県立筑波高等学校 図書委員会

## ☆学校図書室！の呼び方は本当に正しいの？

学校の中で図書がたくさん置いてあり、いつでも貸し出しや閲覧できる部屋のことを、みなさんは何と読んでいますか？一般に「図書室」と呼ぶ人が多いと思いますが、これは正しくない呼び方であり、正しい呼び方は「学校図書館」です。「学校図書館」は学校の校舎内にありながら、図書館という独自のスペースと位置を保っているのです。したがって、「学校図書館」は学校に在籍している生徒のみならず、一般の方々も必要に応じて利用できるという利点があります。

ところで、図書館にはどのような種類があるのでしょうか？ 図書館は日本図書館協会のもとにあり、日頃みなさんが利用している公共図書館(public library)、学校にある学校図書館(school library media center)がお馴染みですが、それ以外に国立図書館(national library)、大学図書館(academic library)、専門図書館(special library)、その他の施設に設置される図書館があります。各種の図書館とオンラインで提携し、訪れた公共図書館に読みたい本がない場合に、国立図書館、大学図書館、専門図書館、学校図書館などにその本があるかどうかを検索できるシステムが整備されている自治体もありますので、興味のある人は調べてみてね！

## 3学年の先生が推薦する、卒業生に読んで欲しい図書(その1)

### 《及川徳子学年主任が卒業生に推薦する図書》

#### 〔推薦図書1冊目〕

- ・書籍名:スマホ脳
- ・著者名:アンデシュ・ハンセン 訳:久山 葉子
- ・出版者:新潮社
- ・推薦の理由: iPhone のアップル創業者スティーブ・ジョブスの言葉「うちでは、子供たちがデジタル機器を使う時間を制限している」。スマホ中毒は本能行動や薬物中毒と類似。「美味しいもの→ドーパミン分泌→食べる→エンドルフィン(脳内モルヒネ)分泌」と「通知→ドーパミン→スマホチェック→エンドルフィン」は同じだから。看護系、保育系、子の親になる皆さんにオススメ。



#### 〔推薦図書2冊目〕

- ・書籍名:人体の知識が身につく はたらく細胞 学べるクイズ
- ・著者名:シリウス編集部 はたらく細胞製作委員会
- ・出版者:講談社
- ・推薦の理由:アニメ化もされているマンガ「はたらく細胞」のキャラクターとともに、様々な血液細胞の役割、ウイルス感染、花粉症、熱中症、ガン...など、身近な医学の基礎知識を、クイズ形式で楽しく学べます。ちなみに、私は白血球さん(U-1146番)押しです。



#### 〔推薦図書3冊目〕

- ・書籍名:きみのことがだいすき
- ・著者名:いぬい さえこ
- ・出版者:PIE International
- ・推薦の理由:「かなしいきもちはね、ふたをしなくていいんだよ」「99人に合う靴だって、君に合わないや意味がないんだ...」「あなたが今日もがんばっていたこと、知ってるよ...」子供だけでなく、すべての人をやさしく包んでくれる絵本です。木曜の夜読むと、あと1日頑張れる！日曜の夜読めば、月曜朝起きられる！！



## 《五造光春先生が推薦する図書》

### 〔推薦図書1冊目〕

- ・書籍名：一汁一菜でよいという提案
- ・著者名：土井 善晴
- ・出版者：新潮社
- ・推薦の理由：「きょうの料理」などの料理番組でよく見る土井先生がSNSで、いつもとても美味しそうなお味噌汁を紹介しています。それを見て、この本を手に取りました。お味噌汁を作って食べてみようと思う本です。



### 〔推薦図書2冊目〕

- ・書籍名：チャートと地図でわかる 徳川家康と最強家臣団
- ・著者名：小和田 泰経
- ・出版者：ホビージャパン
- ・推薦の理由：今年のNHK大河ドラマ「どうする家康」を毎週とても楽しみに見えています。これを機に徳川家康について知りたいなと思い、この本を手に取りました。徳川家康って強い家臣がこんなにたくさんいたんだなと驚くばかりです。



## 《川口あゆみ先生が推薦する図書》

- ・書籍名：ハリー・ポッターと賢者の石
- ・著者名：J. K. ローリング 訳：松岡佑子
- ・出版者：静山社
- ・推薦の理由：知っている人が多い作品だと思います。シリーズ全ての作品をおすすめしますが、やはり「ハリー・ポッターと賢者の石」は一作目だったこともあり、凄く衝撃を受けたので1番はこの作品です。



- ・書籍名：いちばんしあわせな おくりもの
- ・著者名：作・絵：宮野 聡子
- ・出版者：教育画劇
- ・推薦の理由：子育てをしていて、とても優しい気持ちになれる絵本に出会ったので、ぜひ高校生の皆さんにも読んでもらいたいと思った絵本です。優しいストーリーに負けないイラストの優しさ、丁寧な描写は、すっかりと魅了されてしまいました。



## 《小松崎秀一先生が推薦する図書》

- ・書籍名：眠れないほどおもしろい百人一首
- ・著者名：板野博行
- ・出版者：王様文庫
- ・推薦の理由：百人一首のそれぞれの和歌の意味や内容、背景が、とてもわかりやすく記されています。この1冊を読むことで、百人一首の内容があたりと頭の中に描けることでしょう。ぜひご一読ください。



- ・書籍名：英語で読む百人一首
- ・著者名：ピーター・J・マクミラン
- ・出版者：文藝春秋
- ・推薦の理由：日本の古語を外国語でどう表現するのか？また、その表現がどのような文章になるのか？非常に興味深い一冊でした。表現のおもしろさを、皆さんもぜひ味わってみてください。



○今回紹介した「3学年の先生が推薦する、卒業生に読んで欲しい図書(その1)」は、現在の1・2年生にも是非推薦したい図書です。もしこれから機会や時間があれば是非一度読んでください。なお、図書館ではいつでも読みたい本のリクエストを行っていますので、図書館にあるリクエスト用紙に書いていただければ購入することができます。宜しくお願いします！

